

※黄色セルが原則、入力をしていただく箇所です。

特定建築物排出量削減実施報告書 兼 特定建築物再生可能エネルギー設備等導入実施報告書

提出日 令和〇年〇月〇日

提出日を記入してください。

群馬県知事 あて

特定建築主の氏名
(法人にあっては、法人の名称)
代表者の氏名
(法人の場合のみ)

特定建築主の住所
(法人にあっては、主たる事業所の所在地)

法人の場合、法人名、代表者氏名(職名含む)、本社の住所を入力してください。

〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇〇〇

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例第29条及び第61条の規定により、別紙のとおり提出します。

特定建築物の概要(名称、所在地、工種の種別、工事完了年月日、構造、階数、敷地面積、高さ、建築面積、延床面積)を入力してください。

特定建築物の概要	名称	〇〇〇〇株式会社〇〇工場					
	所在地	群馬県〇〇市〇〇町〇〇〇〇					
	工種の種別	新築					
	工事完了年月日	令和〇年〇月〇日					
	構造	鉄骨造		階数	〇〇〇		
	敷地面積	6000	m ²	高さ	15	m	
	建築面積	3000	m ²	延床面積	5000	m ²	
				(増築又は改築部分の延床面積)		m ²	
備考							

特記事項等ございましたら、記入してください。

増築又は改築部分の延床面積は、工種の種別で、増築又は改築を選択した場合に、記入してください。※工種の種別で増築又は改築を選択するとセルが黄色に着色されます。

特定建築主の連絡先	担当部署	
	所在地 (上記住所と異なる場合)	
	担当者氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
設計者の連絡先	担当部署	
	所在地	
	担当者氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

特定建築主の担当者の連絡先(担当部署、担当者氏名、電話番号、メールアドレス)を入力してください。なお、所在地については、上記で記載した住所(特定建築物主の住所)と異なる場合は、入力してください。

設計者が代理人として提出する場合は、設計者の連絡先(担当部署、所在地、担当者氏名、電話番号、メールアドレス)を入力してください。

注 「設計者の連絡先」欄は、設計者が代理人として提出する場合に限り、記載してください。

該当する項目にレ印を記入(口をクリック)し、その概要を記入してください。
 ※該当しない項目については、記載不要です。

温室効果ガスの排出の量の削減等を図るために実施した措置の内容		概要
<input checked="" type="checkbox"/>	外壁、屋根又は床の断熱	断熱材を使用
<input checked="" type="checkbox"/>	窓の断熱又は日射の遮蔽	複層ガラス、Low-E複層ガラスを使用
<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明、高効率空調、高効率給湯機器の導入
<input checked="" type="checkbox"/>	環境への負担が少ない材料の利用	再生材の利用
<input checked="" type="checkbox"/>	節水に資する機器の導入	節水型便器・水栓の導入
<input checked="" type="checkbox"/>	雨水、井戸水又は雑排水の利用のための設備の導入	雨水貯水槽の設置
<input checked="" type="checkbox"/>	緑化の実施	外構緑化の実施
<input checked="" type="checkbox"/>	再生可能エネルギー設備等の導入	太陽光発電設備及び蓄電池を導入
<input checked="" type="checkbox"/>	電気自動車等の充電設備の設置	普通充電設備（200V）を設置
<input type="checkbox"/>	その他	

県産木材の利用状況	概要	
当該建築物における木材使用量	500	m ³
上記のうち、群馬県産木材の利用量	300	m ³

注1 該当する口には、レ印を記入してください。

注2 この報告書には次の書類を添付してください。

- ・当該特定建築物で使用した県産木材の種類及び量が確認できる証明書等の写し
- ・温室効果ガスの排出の量の削減等を図るために実施した措置が具体的に分かる資料

建築物に使用した木材使用量とそのうち群馬県産材の使用量を記入してください。

再生可能エネルギー設備等の導入の内容		再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量	
再生可能エネルギー設備の導入	太陽光	太陽光パネルの定格出力(kw) 100	1,196,966 MJ
	風力	風力発電設備の定格出力(kw)	MJ
	小水力	水量(m ³)	MJ
		有効落差(m)	
	地中熱	年間利用地下水量(m ³)	MJ
	太陽熱	太陽熱利用施設の集熱面積(m ²)	MJ
	バイオマス発熱	バイオマス発熱設備の定格出力(kw)	MJ
		年間利用時間(h)	
	バイオマス発電	バイオマス発電設備の定格出力(kw)	MJ
		年間利用時間(h)	
		平均負荷率(定格出力に対する出力の比率)	
	その他		MJ
再生可能エネルギーの導入量の合計量		1,196,966 MJ	
特定建築物に導入すべき再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量		300,000 MJ (以下)	
効率的利用設備の導入	種別	概要	
	<input checked="" type="checkbox"/> 蓄電池	蓄電池(容量: ○○kwh)を導入	
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギーマネジメントシステム	エネルギーマネジメントシステムを導入(FEMS)	
	<input type="checkbox"/> その他		
備考			

【指針の算出式を使用する場合】黄色セルに入力していただくと、再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量は自動計算されます。

【指針の算出式を使用しない場合】再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量を直接入力してください。(セルに計算式が入力されていますが、上書きで入力していただいて問題ありません。)

上記設備以外の設備を導入する場合、導入する設備から得られる熱及び電気の量の値を入力してください。

該当する項目にレ印を記入(口をクリック)し、その概要を記入してください。
※該当しない項目は、記載不要です。

※合計量は、自動計算されます。

延床面積に応じた値が自動計算されます。

【注意事項】再生可能エネルギー設備の導入義務規定が2023年4月1日施行されます。そのため、それ以降は、原則、再生可能エネルギーの導入量の合計量>特定建築物に導入すべき再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量となるよう御留意ください。

注1 該当する口には、レ印を記入してください。
注2 この報告書には次の書類を添付してください
・導入した再生可能エネルギー設備又は効率的利用設備の内容及びその設置場所が分かる資料
・導入した再生可能エネルギー設備から得られる熱及び電気の量を一次エネルギーの熱量に換算した量の算出の根拠となる資料
・当該特定建築物に係る床面積求積図その他導入すべき再生可能エネルギー設備の基準値の算出の根拠となる資料

・特記事項等ございましたら、記入してください。